別紙1

指定管理者のモニタリングシート

1，基本情報

確認年月日：令和4年3月30日

施設名	原敬記念館		
住所	盛岡市本宮4丁目38-25		
指定管理者名	公益財団法人　盛岡市文化振興事業団	所管課名	歴史文化課
指定管理料（年額）	23,651,853円		
今回確認期間	令和　2　年　12　月　1　日 から令和　3　年　11　月　30　日 まで （　12 ヶ月間）		

2，業務の履行状況の確認について

（1）稼動実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		309	285
延べ利用者数	個人	6,000	4,455
	団体	100	0
主要事業開催回数	展示活動事業【自主事業】	8件	8件
	教育普及事業【自主事業】	19件	15件
	教育普及事業【出前授業】	15件	25件
	教育普及事業【出前講座】	10件	4件
	共催事業（原敬を想う会）	6件	3件
	原敬100回忌関連事業	9件	5件

（2）管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し，これらに沿った管理運営がなされているか。	適・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか（一部の市民・利用者に対して，不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。）。	適・要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	建物，外構，設備の修繕の履歴は整理，保管されているか。	適・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適・要改善
	備品の購入，廃棄，修繕の記録について整理，保管されているか。	適・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適・要改善
	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	適・要改善
管理能力の確保	適正な人数の職員が配置されているか。	適・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適・要改善

（2）管理運営実績（続き）

項目		確認欄
個人情報保護	施設で取り扱う個人情報は，特記仕様書に基づき扱われているか。	適・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について，記録が整備されているか。	適・要改善
	あらかじめ市に協議するべき事項について，適時に協議がされているか。	適・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について，適時に報告がなされているか。	適・要改善

3，サービスの質の確認について

（1）サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か	適・要改善
	利用者への応対のマナーは適切か	適・要改善
	利用者に対する職員の案内，説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適・要改善
苦情要望	利用者からの苦情・要望に対し，適切な対応がなされているか	適・要改善
	利用者からの苦情・要望について，市への連絡報告が適切に行われているか	適・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適・要改善
	事業内容は利用者のニーズに合っているか	適・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適・要改善

4，指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

【管理面】
前年度に引き続き，新型コロナウイルス感染症対策に重点をおき，各所の消毒や換気を行った。中でも企画展会場である小ホールについては，空調システムが備え付けれていないため，エアチェッカーを購入し，CO2濃度の測定値に基づき，換気を徹底出来るようにした。併せて，一部国の補助金を活用し，換気システムを備えたエアコンを小ホールに設置出来る運びとなり，兼ねてから懸案事項であった夏場の温湿度対策についても解決出来る見込みとなった。他，優先順位のもと限られた予算内で修繕，庭園整備を随時実施している。

【事業面】
今期は，昨年度コロナ禍により延期となった原敬100回忌記念事業を中心に各種事業を実施した。没後100年という節目の年にもあたる為，注目度も高く，マスコミからの取材依頼が多い年となった。特別企画展では，原敬の生涯を前後編に分け，詳細に紹介。今回の企画展のために御遺族等から借用した貴重な資料を初公開し，来館者から好評を博した。また，命日の追悼会や記念の集いには，ご遺族や黄檗宗総本山の管長をはじめ，県内外から多くの参加者があり原敬への関心の高さが伺えた。なお，両事業とも座席指定の事前申し込みにするなど感染対策を徹底し，参加者や職員の安全に留意するよう心掛けた。

5，モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
新型コロナウイルス感染症対策については，引き続き館内の消毒等安全を重視し，安心して来館できる環境を維持していきたい。また，経年劣化に伴う施設内及び庭園各所の修繕については，優先順位をつけ，数年単位で対処する予定。なお目下，最大の懸案事項は，昨年度に雨漏りが発生し，カラスによる損壊が著しい生家茅葺屋根の修繕である。文化財保護のためにも早急な対処（部分修繕）が必要となっている。ほか，蛍光灯の生産数量減産などにも対応する必要が生じている。 また，事業については，昨年度に無事，原敬100回忌記念事業を終えたところであるが，この気運を絶やさぬよう調査研究をもとに原敬の業績等を伝えていきたい。	昨年に引き続き，新型コロナウイルス対策を十分に行い，来館者が安全かつ快適に利用できるよう，環境整備に努めており，適切な維持管理が行われている。 また，原敬100回忌に対応した特別展を行うなど，積極的に原敬の発信を行っている。 今後も継続して多様な取組を実施し，施設の特色を生かしながら，積極的なPR及び事業展開を期待する。